PM-G730

基本操作ガイド

本書の内容

プリンタの使い方は『PM-G730電子マニュアル』をご覧ください。

『PM-G730電子マニュアル』は、ソフトウェアのインストール時にパソコンにインストールされます。

―― 本書はプリンタの近くに置いてご活用ください ――

バラエティ用紙を使って楽しもう!!

CD/DVD、
ミニフォトシール
e.t.c...
いろんな印刷
してみませんか？

● アイロンプリントペーパー

● CD/DVD

● ミニフォトシール

● 両面マット紙＜再生紙＞
（名刺サイズ）

● 写真用紙＜光沢＞
（カードサイズ）

ここで紹介している用紙の詳細や印刷方法は、電子マニュアルの「バラエティ用紙を使って楽しもう！！」でご案内しています。
（電子マニュアルについては、本書 28 ページをご覧ください。）

目次

本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。	補足情報	補足情報や制限事項を記載しています。
こんなときは	操作を間違った場合や説明通りにならない場合などの対処方法、また知っておくと便利な情報を記載しています。	☞	関連した内容の参照ページを示しています。

各部の名称と働き

用紙サポート

印刷するための用紙を支えます。

オートシートフィーダ

セットした用紙を自動的に給紙します。

エッジガイド

用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

プリンタカバー

インクカートリッジの取り付けや交換時に開きます。

排紙トレイ

印刷された用紙を保持します。

CD/DVD 位置調整用シート

8cmCD/DVD 用アタッチメント

CD/DVD トレイ

これらは CD/DVD 印刷をするときに使います。
詳しい使い方については、
『PM-G730 電子マニュアル』をご覧ください。

交換が必要なインクカートリッジ確認位置

インクランプが点灯／点滅しているときに インク ボタンを押すと、プリントヘッドがこの位置に移動します。

マークの前にあるインクカートリッジが、交換が必要なカートリッジです。

インクカートリッジ交換位置

インクカートリッジの取り付け時や交換時に、プリントヘッドがこの位置に移動します。

インクカートリッジ固定カバー

インクカートリッジを固定するカバーです。

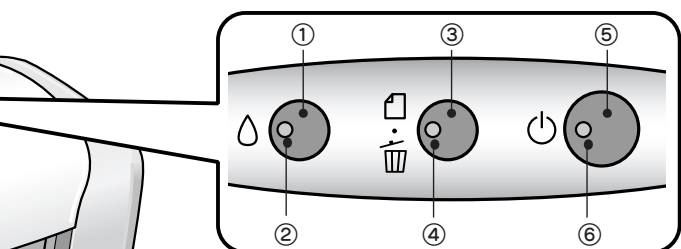
プリントヘッド（ノズル）

インクを用紙に吐出する部分です。ノズルは外部からは見えません。

インク吸収材

フチなし印刷時にはみ出したインクを吸収します。

CD/DVD ガイド

CD/DVD トレイをセットします。手前に開くと、CD/DVD 印刷モードに切り替わります。

※ランプ表示については、
『PM-G730 電子マニュアル』－「ランプ表示」をご覧ください。

①インクボタン

- インクカートリッジを交換する際に、プリントヘッドを移動させます。
- 3秒間押したままにすると、プリントヘッドのクリーニングを行います。

②インクランプ

インクがなくなったときや残り少なくなったときなど、インクに関するエラーが発生した場合にランプが点灯／点滅します。

③用紙ボタン

- 用紙を給紙、または排紙します。通常の印刷時は自動的に給紙／排紙されますので、このボタンを押す必要はありません。
- 電源投入時に 用紙 ボタンを押しながら 電源 ボタンを押すと、プリンタの動作確認（ノズルチェックパターン印刷）を行います。
- 印刷中に押すと、印刷を中止して用紙を排紙します。

④用紙ランプ

印刷実行時に用紙がセットされていなかったり、紙詰まりなどの用紙に関するエラーが発生した場合にランプが点灯／点滅します。

⑤電源ボタン

プリンタの電源をオン／オフする際に１秒間長押しします。

- **電源オン**
  電源 ボタンを押すと、電源がオンになり電源ランプが緑色に点灯します。
- **電源オフ**
  電源 ボタンを押すと、電源ランプが点滅した後、電源がオフになります。

注 意

電源のオン／オフは、必ずプリンタ本体の 電源 ボタンで行ってください。電源がオンの状態で電源プラグを抜くなどすると、プリンタの終了処理が行われず、正常に印刷できなくなる場合があります。

⑥電源ランプ

印刷可能状態のときに点灯し、データの受信処理中、プリンタの終了処理中、インクカートリッジ交換作業中、およびクリーニング中に点滅します。

USB インターフェイスコネクタ

USBケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

AC インレット

電源コードのプラグを接続します。

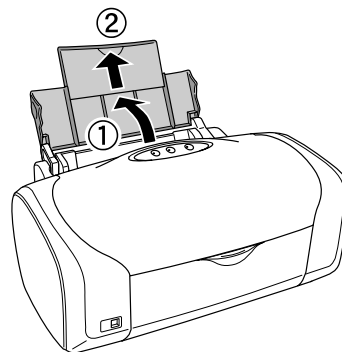
電源コード

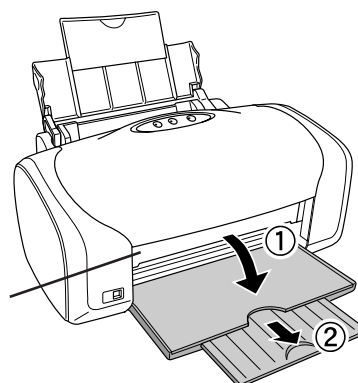
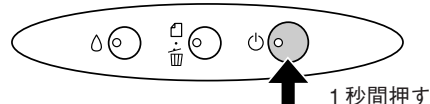
本体 AC インレットを AC100V の電源に接続します。

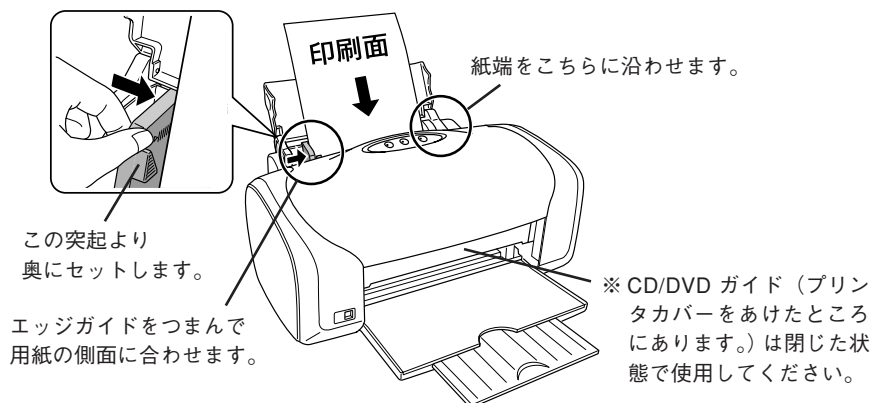
基本的な印刷
文書の印刷

お手持ちのアプリケーションソフトで作成した文書や、メール文書などを印刷してみましょう。

用紙のセット

1 用紙サポートを開いて引き出します。

2 排紙トレイを開いて引き出します。

CD/DVD ガイド（プリンタカバーをあけたところにあります。）は閉じた状態で使用してください。

3 プリンタの電源をオンにします。

4 印刷面を手前にして用紙をセットし、エッジガイドを用紙の左側面に合わせます。

用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると正常に印刷や排紙ができません。本製品で使用できる用紙については、『PM-G730 電子マニュアル』－「使用できる用紙／ CD/DVD」をご覧ください。

印刷方法

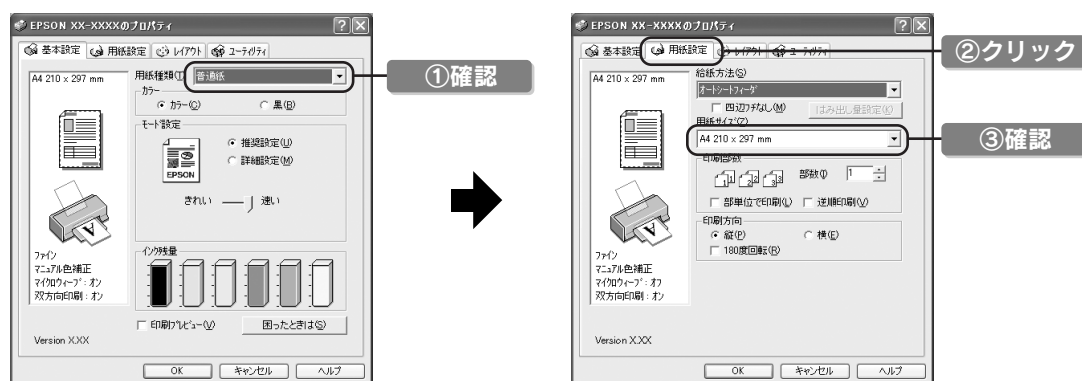
Windows の場合

※ 画面は Microsoft Word を例に説明しています（お使いのアプリケーションソフトによって手順などが異なる場合があります）。

1 プリンタドライバの画面を表示します。

アプリケーションソフト上で、①［ファイル］メニューをクリックし、②［印刷］（または［プリント］など）をクリックし、③［PM-G730］を選択して、④ プロパティ ボタン（または 詳細設定 ボタンなど）をクリックします。

プリンタドライバの設定を確認します。

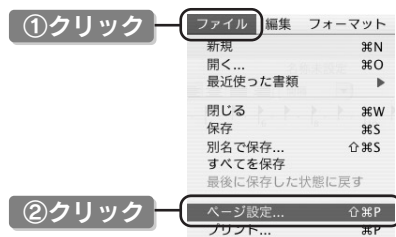
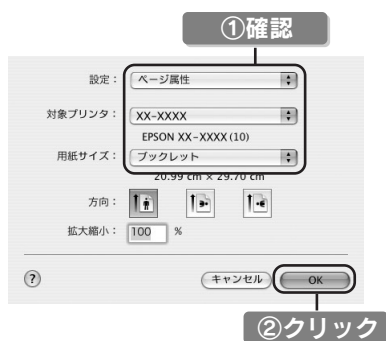
①［基本設定］画面で用紙種類がセットした用紙の種類になっていることを確認し、②［用紙設定］タブをクリックして、［用紙設定］画面で、③用紙サイズがセットした用紙と同じであることを確認します。

3 ① OK ボタンをクリックして、プリンタドライバの画面を閉じ、② OK ボタンをクリックして印刷を実行します。

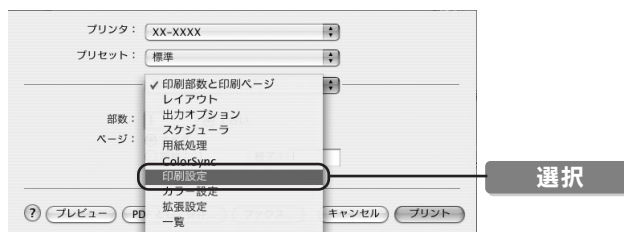
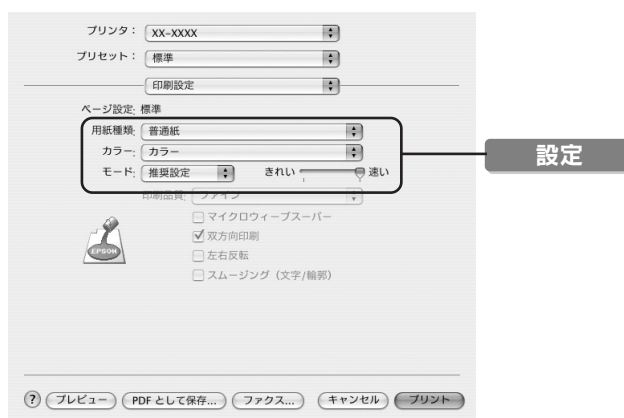
以上で Windows での文書の印刷方法については終了です。

Mac OS Xの場合

※ 画面はテキストエディットを例に説明しています（お使いのアプリケーションソフトによって手順などが異なる場合があります）。

プリンタドライバの［ページ設定］画面を表示します。

アプリケーションソフト上で、①［ファイル］メニューをクリックし、②［ページ設定］をクリックします。

2 ［ページ設定］画面の各項目を確認して、OKボタンをクリックします。

プリンタドライバの［プリント］画面を表示します。

アプリケーションソフト上で、①［ファイル］メニューをクリックし、②［プリント］をクリックします。

［プリント］画面が表示されます。

［プリント］画面の①［プリンタ］の項目に［PM-G730］が表示されていることを確認し、②印刷部数と印刷ページを確認します。

6

［印刷設定］を選択します。

7

［印刷設定］画面の各項目を設定します。

プリント ボタンをクリックして印刷を実行します。

以上で Mac OS X での文書の印刷は終了です。

ハガキの印刷

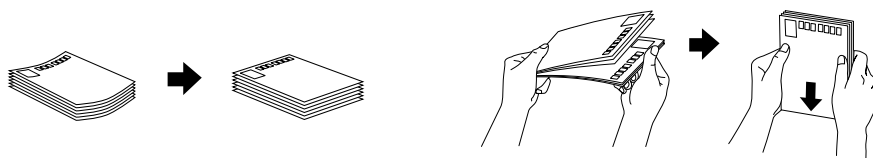
用紙のセット

用紙サポートを開いて引き出します。

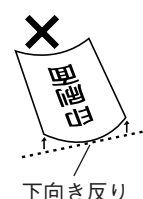
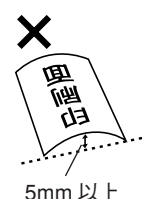
排紙トレイを開いて引き出します。

プリンタの電源をオンにします。

ハガキをセットする準備をします。

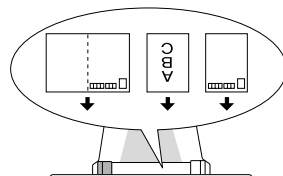
反りを修正して、平らにします。そしてハガキをよくさばき、端をそろえます。写真用紙（絹目調）ハガキは、反りを修正したり、さばいたりしないで、端を揃えます。

ハガキのセット方法は、ハガキによって異なります。
詳しいセット方法については、『PM-G730 電子マニュアル』－（ハガキのセット方法）をご覧ください。

注 意

- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- エプソン製専用ハガキをセットする場合は、必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。
- 右図のように 5 mm以上反っているハガキや、下向きに反っている（両端が浮いている）ハガキは、セットしないでください。セットすると、印刷面が汚れる、正常に給排紙されないなどの原因になるおそれがあります。

印刷面を手前にしてハガキをセットし、エッジガイドをハガキの側面に合わせます。

宛先用の郵便番号枠を下側にして、縦方向にセットしてください。
往復はがきは、折り目を付けずに横方向にセットしてください。
本製品で使用できるハガキについては、『PM-G730電子マニュアル』－「使用できる用紙／CD/DVD」をご覧ください。

注意

ハガキは図の向きでセットしてください。

設定のポイント

ハガキへ印刷する際の基本的な手順は、「文書の印刷」でご説明している手順と同じです。以下のページを参照して、印刷を実行してください。

Windows　：　本書5ページ
Mac OS X　：　本書6ページ

なおハガキに印刷する際は、プリンタドライバの［用紙設定］の項目を、下表の通りに設定してください。

セットした用紙	プリンタドライバ設定［用紙種類］	
郵便ハガキ*	宛名面	普通紙
	通信面	普通紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）*	宛名面	普通紙
	通信面	郵便ハガキ（インクジェット紙）
郵便光沢ハガキ（写真用）*	宛名面	普通紙
	通信面	郵便光沢ハガキ
写真用紙＜絹目調＞はがき	宛名面	普通紙
	通信面	EPSON 写真用紙
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面	普通紙
	通信面	EPSON スーパーファイン紙

*日本郵政公社製

以上でハガキの印刷は終了です。

基本的な印刷
ホームページの印刷

Windows の場合

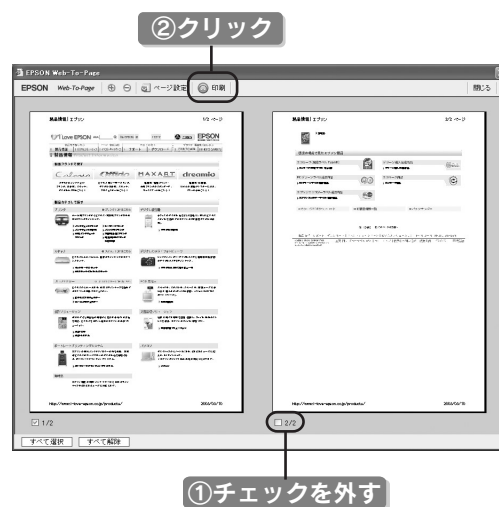
EPSON Web-To-Page（ウェブトゥページ）を使うと、ホームページを用紙の幅に納まるように自動的に調整して印刷することができます。
EPSON Web-To-Pageは、プリンタドライバや各種ソフトウェアをインストールするときに一緒にインストールされ、Microsoft Internet Explorer のツールバーに追加されます。
ここでは、基本的な操作方法をご紹介しています（詳しい使い方は、EPSON Web-To-Page の操作マニュアルをご覧ください）。

用紙をセットします。

用紙のセット方法については、本書4ページ「文書の印刷」をご覧ください。

EPSON Web-To-Page の 印刷プレビュー ボタンをクリックします。

［印刷プレビュー］画面が表示されます。

3 ①印刷しないページがある場合はそのページのチェックを外してから、②画面上部の 印刷 ボタンをクリックします。

［PM-G730］を選択して、印刷 ボタンをクリックします。

［詳細設定］をクリックし、ご使用の用紙に合わせて印刷設定を変更してください。詳しくは、本書5ページ「文書の印刷ー印刷方法」手順2をご覧ください。

補足情報

［印刷］画面は、使用する OS の種類や、Microsoft Internet Explorer のバージョンによって異なります。

以上で Windows で「EPSON Web-To-Page」を使ったホームページの印刷は終了です。

Mac OS X の場合

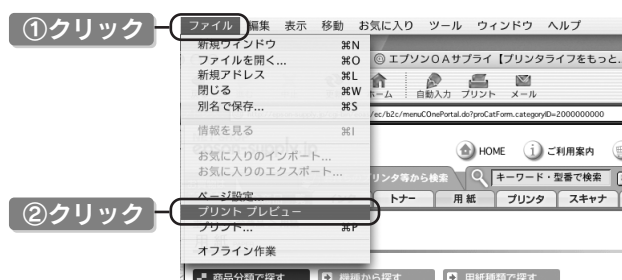
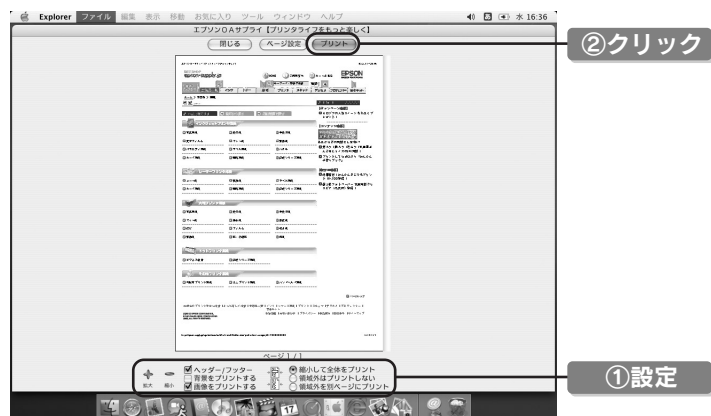
Mac OS X でホームページを印刷する基本的な手順は「文書の印刷」と同じです。加えて、以下の設定をすることをお勧めします。用紙のセット方法については ☞本書 4 ページ「文書の印刷」をご覧ください。
※ Mac OS X の場合 EPSON Web-To-Page は対応していません。

Safari で印刷する場合

☞本書 7 ページ「文書の印刷－印刷方法」手順 7 の終了後［Safari］を選択して、各項目を設定します。

プリント ボタンをクリックして印刷を実行します。

Internet Explorer で印刷する場合

☞本書 6 ページ「文書の印刷－印刷方法」手順 2 の終了後、①［ファイル］－②［プリントプレビュー］の順でクリックします。

［プレビュー］画面の各項目を設定して、プリント ボタンをクリックします。

こんなときは

ページの端が切れて印刷される場合は、［縮小して全体をプリント］をチェックします。

☞本書 7 ページ「文書の印刷－印刷方法」手順 5 を参照し、印刷を実行します。

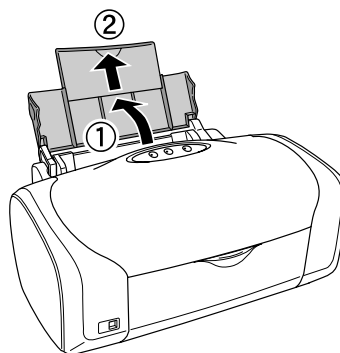
補足情報

［印刷］画面は、使用する OS の種類や、Microsoft Internet Explorer のバージョンによって異なります。

以上で Mac OS X でのホームページの印刷は終了です。

写真の印刷

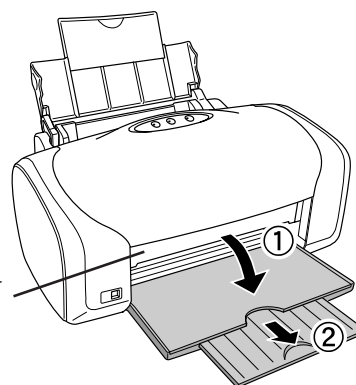
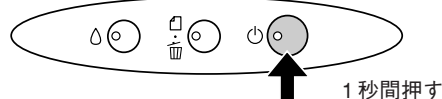
付属のソフトウェアを使って、L判写真用紙にフチなし印刷をしてみましょう。A4など他のサイズの用紙も同じ手順で印刷することができます。

用紙のセット

用紙サポートを開いて引き出します。

排紙トレイを開いて引き出します。

CD/DVDガイド（プリンタカバーをあけたところにあります。）は閉じた状態で使用してください。

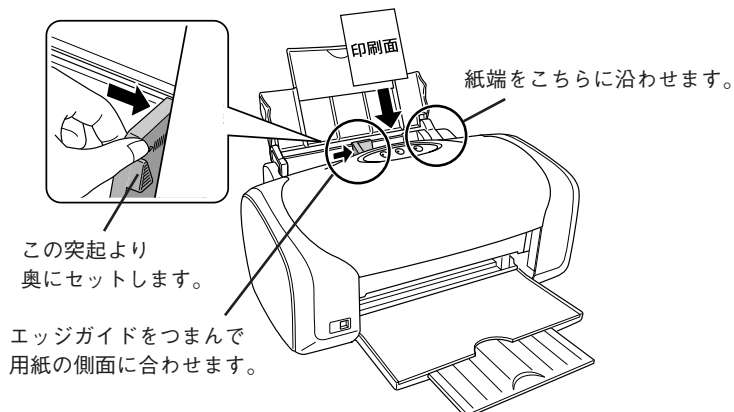
プリンタの電源をオンにします。

1秒間押す

印刷面を手前にして用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると正常に印刷や排紙ができません。本製品で使用できる用紙については、『PM-G730電子マニュアル』－「使用できる用紙/CD/DVD」をご覧ください。

紙端をこちらに沿わせます。

この突起より奥にセットします。

エッジガイドをつまんで用紙の側面に合わせます。

使用するソフトウェアのご紹介

「EPSON Easy Photo Print」では、印刷完成イメージを確認しながら、写真を簡単にきれいに印刷することができます。
ここでは、「EPSON File Manager」から「EPSON Easy Photo Print」を起動する方法をご紹介します。

デスクトップ上の［EPSON File Manager］アイコンをダブルクリックします。

以下の画面で、①写真の入ったフォルダを開き、②印刷する写真を選択し、③［かんたん写真プリント］ボタンをクリックします。

この後表示される画面で各項目を設定して、写真を印刷します。

以上、「EPSON Easy Photo Print」の起動方法になります。EPSON Easy Photo Print を使って写真を印刷する手順は、電子マニュアルで詳しくご案内しています。
『PM-G730 電子マニュアル』－「写真の印刷方法」をご覧ください。

補足情報

電子マニュアルについては、本書 29 ページ「電子マニュアルの使い方」をご覧ください。

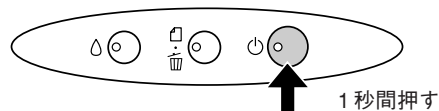
CD/DVD レーベル印刷

本製品は、CD/DVDのレーベル面に直接印刷することができます。付属のソフトウェアを使って印刷してみましょう。

注 意

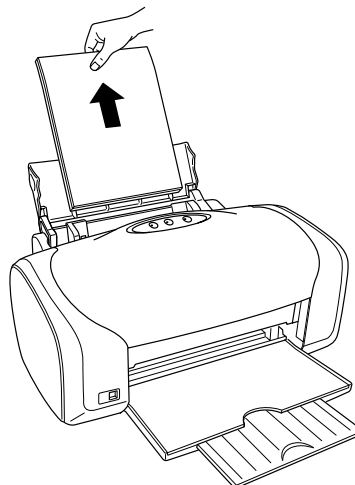
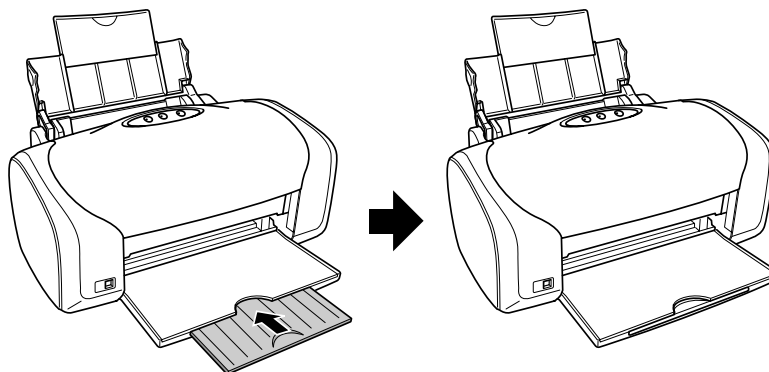
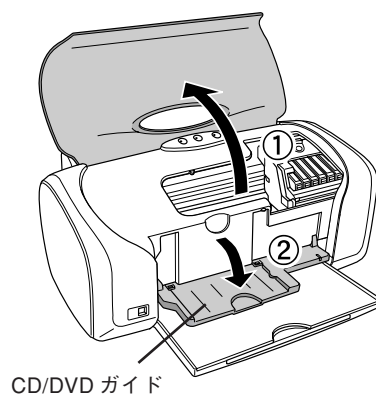
CD/DVD は、レーベル面への直接印刷、およびインクジェットプリンタでの印刷に対応しているものをお使いください。印刷できることを確認したCD/DVD については、『PM-G730 電子マニュアル』―「使用できる用紙／ CD/DVD」をご覧ください。

CD/DVD のセット方法

プリンタの電源をオンにします。

用紙がセットされている場合は取り除きます。

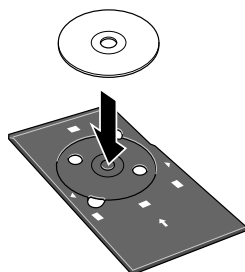
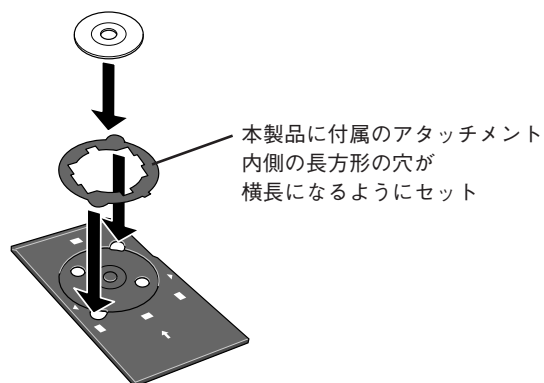
各用紙の取り除き方法については『PM-G730電子マニュアル』ー（各用紙の取り除き方法）をご覧ください。

補足情報

用紙サポートは閉じていても開いていてもかまいません。

3 排紙トレイを引き出してある場合は、排紙トレイを一段にします。

プリンタカバーを開けて、CD/DVD ガイドを開きます。

CD/DVD ガイドを開いた後は、プリンタカバーを閉じてください。

CD/DVD を専用の CD/DVD トレイに載せます。

トレイ上にゴミなどがないか確認し、印刷面を上にして、1 枚だけ載せてください。

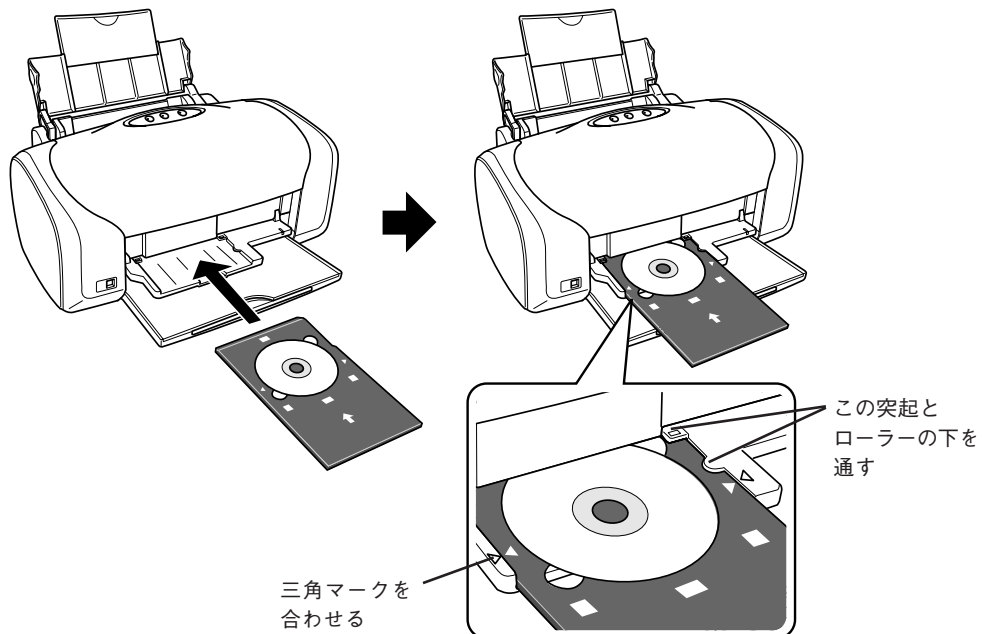
12cmCD/DVD の場合

8cmCD/DVD の場合

注 意

- 本製品に付属のトレイをお使いください。
- 8cmCD/DVDをセットする場合は、アタッチメントも併せてセットしてください。アタッチメントを使用しないと、印刷位置のずれ、給紙不良につながるおそれがあります。なお、市販の8cmCD 用アタッチメントは使用できません。

補足情報

購入時、8cmCD/DVD 用アタッチメントは、トレイに貼り付けてあります。12cmCD/DVD をセットする場合は、アタッチメントを取り外してください。

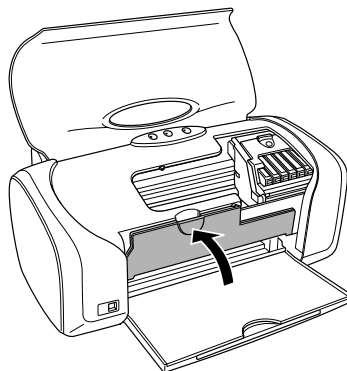
トレイを CD/DVD ガイドにセットします。

図の向きに従ってトレイを挿入し、左右の▷マークを合わせてください。

注 意

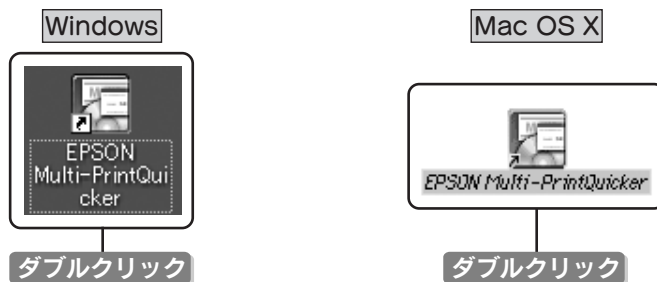
必ず前面から挿入してください。背面から挿入すると、本製品の動作不良や故障につながるおそれがあります。

以上で、CD/DVD のセットは終了です。

補足情報

印刷終了後、続けて CD/DVD 印刷をしない場合は、CD/DVD ガイドを閉じておいてください。

使用するソフトウェアのご紹介

「EPSON Multi-PrintQuicker（エプソン マルチ プリントクイッカー）」では、CD/DVDレーベル印刷のほかにも、名刺などを印刷することができます。ここでは、「EPSON Multi-PrintQuicker（エプソン マルチ プリントクイッカー）」の起動（CD/DVDレーベル印刷）について説明しています。

デスクトップ上の［EPSON Multi-PrintQuicker］アイコンをダブルクリックします。

こんなときは

Windowsでデスクトップにアイコンが表示されない場合は、①［スタート］－②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－③［EPSON Multi-PrintQuicker］－④［EPSON Multi-PrintQuicker］の順にクリックします。

表示された以下の画面で、①［本製品名］、②［CD/DVDレーベル］、③［用紙名称］、④［新規作成］ボタンをクリックします。

この後表示される画面で各項目を設定して、印刷を開始します。

以上、「EPSON Multi-PrintQuicker」の起動方法になります。EPSON Multi-PrintQuickerを使ってCD/DVDレーベルを印刷する手順は、電子マニュアルで詳しくご案内しています。

『PM-G730電子マニュアル』－「CD/DVDレーベルを印刷」をご覧ください。

補足情報

電子マニュアルについては、本書29ページ「電子マニュアルの使い方」をご覧ください。

これだけは覚えておきましょう
上手に長くお使いいただくコツ

紙詰まり、印刷面の汚れを防ぐ

用紙が詰まったり、2 枚以上重なって給紙（重送）されたり、印刷面が汚れたりするのを防ぐために、以下の点にご注意ください。

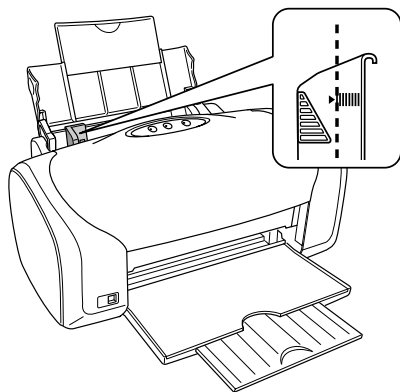
１、 本プリンタに対応した用紙をご使用ください。

以下のような用紙を使用すると、紙詰まりの原因になります。

- 厚すぎる、あるいは薄すぎる用紙
- 折れ・しわのある用紙
- ルーズリーフやバインダ用紙など、穴の開いた用紙

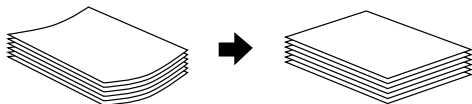
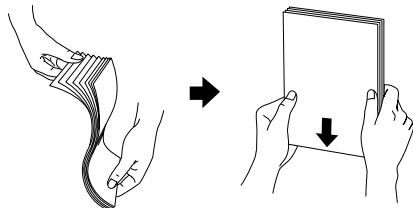
本製品で使用できる用紙については、『PM-G730 電子マニュアル』－「使用できる用紙／ CD ／ DVD」をご覧ください。

２、 セット可能枚数を超えないようご注意ください。

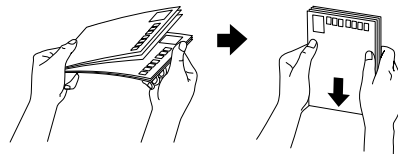
用紙をセットするときは、エッジガイドの ▷ マークを超えないようにセットしてください。

なお、セット可能枚数は、用紙によって異なります。
各用紙のセット可能枚数については、『PM-G730 電子マニュアル』－（各用紙のセット方法）をご覧ください。

３、 用紙をセットするときは、下図をご覧の上、端を揃えてセットしてください。

<普通紙>

袋から取り出して、反りを修正します。

そして、よくさばき、端を揃えます。

<ハガキ>

反りを修正して、平らにします。

そして、よくさばき、端を揃えます。

注 意

- 反ったまま使用すると、用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
- 写真用紙など、一部の用紙では、さばいたり反らせたりすると印刷面を傷つけるおそれがあります。用紙のセット方法については、各用紙の取扱説明書、または『PM-G730 電子マニュアル』－（各用紙のセット方法）をご覧ください。
- 印刷結果がこすれたりムラになったりする場合は、1 枚ずつセットしてください。

ノズルの目詰まりを防ぐ

「インクジェットプリンタ」の仕組みは、霧吹きのようになっており、細かいインクの粒を用紙に吹き付けて印刷しています。このインクの粒を吹き付けている穴が、「プリントヘッドのノズル」です。このノズルの穴は、一般的な霧吹きの穴とは比較にならないほどとても小さく、そのため、プリントヘッドが乾燥したり、小さなホコリが付いてしまっただけで、詰まってしまいます。ノズルが詰まると、印刷結果にスジが入るようになったり、おかしな色で印刷されるようになってしまいます。いつ印刷しても良好な印刷結果が得られるように、以下の点にご注意ください。

■プリントヘッドの乾燥を防ぐ（キャッピング）

プリントヘッドは印刷終了後などに自動的にキャップされるようになっています。万年筆や油性ペンなどのキャップと同じく、プリントヘッドの乾燥を防ぐ働きをしています。
しかし、正しくキャップされる前に突然電源が切れたりすると、乾燥してノズルが目詰まりしてしまいます。
これを防ぐために、以下の点を必ずお守りください。

- 電源プラグは、スイッチつきテーブルタップなどには接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
- 電源のオン／オフは、必ず操作パネル上の電源スイッチで行ってください。

なおプリントヘッドは、正しくキャップされていても長期間放置されると徐々に乾燥してしまいます（万年筆や油性ペンなどが、キャップをしていても長期間放置していると書けなくなるのと同じです）。
これを防ぐためには、ぜひ、定期的に印刷をしてください。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

注 意

インクカートリッジは、インク交換時以外は絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

■プリンタ内部にホコリを入れない

プリンタのノズルは、大変小さいものです。そのため眼に見えない小さいホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりしてしまいます。
必要時以外は、可能な限り開口部を閉じてお使いください。
また、長期間使用しない時などは、ホコリが入らないよう、静電気の発生しにくい布やシートなどをかけておくことをお勧めします。

■プリンタを保管するときは

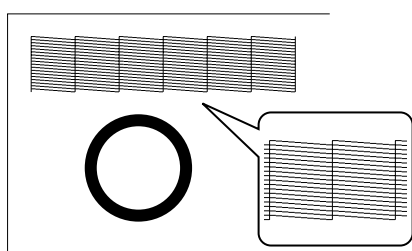
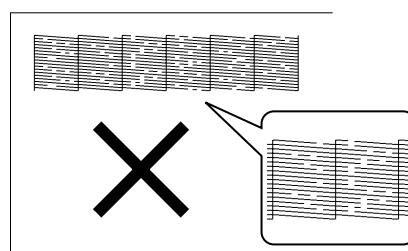
プリンタを保管するときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。

注 意

プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

こんなときは

長期間使用していないプリンタをお使いになる場合は

- ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてください。

すべてのラインが
印刷されています。

印刷されない
ラインがあります。

- ヘッドクリーニングを数回行わないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に5回程度繰り返しても、ノズルの目詰まりが改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置したあと、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングをしてください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになる場合があります。
- ヘッドクリーニングは連続で行わず、ノズルチェックと交互に行ってください。

プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング

インクはあるのに印刷がかすれたり、おかしな色で印刷されたりするときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。本書巻末「プリントヘッド（ノズル）の目詰まり」のサンプルをご覧ください。
ノズルチェック機能を使って、ノズルの目詰まりを確認してください。確認後、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。
ノズルチェックとヘッドクリーニングには、

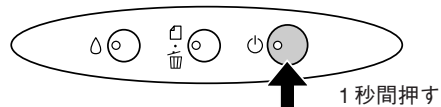
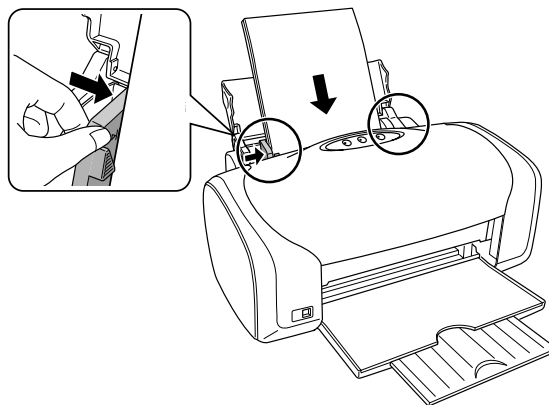
- パソコンからの操作
- プリンタのボタン操作

の 2 つの方法があります。
ここではまず、パソコンからの操作で行う方法についてご案内します。

パソコンからの操作で行う場合

補足情報

パソコンからの操作で行うと、画面の指示にしたがって、簡単にノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返して行うことができます。

プリンタの電源をオンにします。

A4 サイズの普通紙を複数枚セットします。

［ユーティリティ］画面を表示します。

Windows XP の場合

①［スタート］−②［コントロールパネル］−③［プリンタとその他のハードウェア］−④［プリンタとFAX］をクリックします。

※ Windows XP 以外の場合、［スタート］−［設定］−［プリンタ］の順にクリックします。

⑤［PM-G730］のアイコンを右クリックして、⑥［印刷設定］（Windows 98/Meの場合［プロパティ］）をクリックします。表示された画面から、⑦［ユーティリティ］タブをクリックします。

Mac OS X の場合

①ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。
②［アプリケーション］フォルダをダブルクリックして、③［EPSON Printer Utility］アイコンをダブルクリックします。

④［PM-G730］を選択して、⑤ OK ボタンをクリックします。

ノズルチェックパターンを印刷します。

表示された右の画面から、ノズルチェック ボタンをクリックします。

※ノズルチェックを行わず、ヘッドクリーニングのみを行う場合は、このボタンをクリックしてください。

この後は画面の指示に従って、ノズルチェックパターンを印刷して、次の手順に進みます。

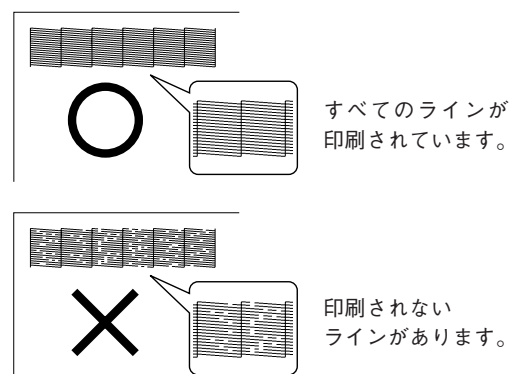
印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

右の、正常の例のように全てのラインが印刷されていれば目詰まりしていません。

印刷されていないラインがある場合は、目詰まりしていますので、表示されている画面から クリーニング ボタンをクリックして、プリントヘッドをクリーニングします。

ノズルチェックパターン

すべてのラインが印刷されています。

印刷されないラインがあります。

クリーニング後は画面の指示に従って、再度ノズルチェックパターンを印刷し、目詰まりが解消されたかをご確認ください。

こんなときは

ヘッドクリーニングを行っても、目詰まりが解消されない

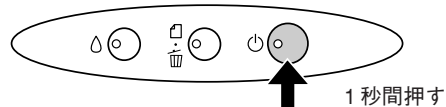
ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。なお、ヘッドクリーニングは連続で行わずにノズルチェックと交互に行ってください。また、ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に5回程度繰り返しても目詰まりが解消されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解する場合があります。

以上でパソコンからの操作でのノズルチェックとヘッドクリーニングは終了です。
なお、プリンタのボタン操作でもノズルチェックとヘッドクリーニングを行うことができます。手順については、次ページをご覧ください。

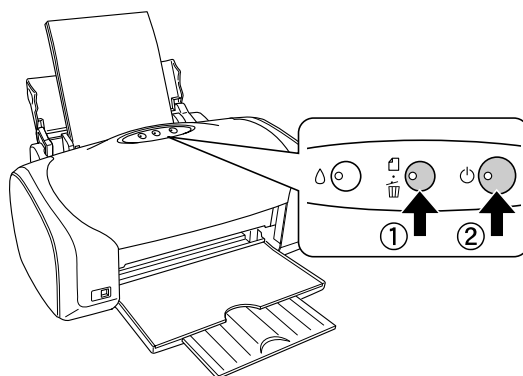
プリンタのボタン操作で行う場合

■ノズルチェック

プリンタにA4サイズの普通紙を複数枚セットします。

一旦、プリンタの電源をオフにします。

3

①用紙ボタンを押したまま
②電源ボタンを押します。

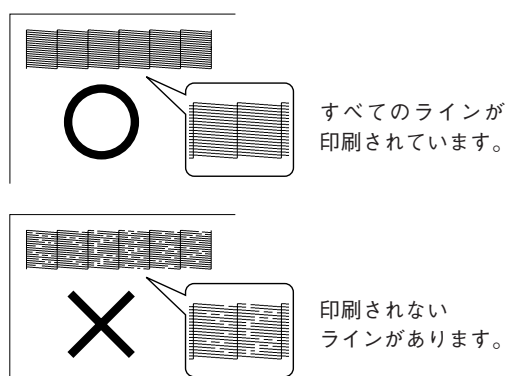
用紙ボタンは、プリントヘッドが動き出すまで押したままにしてください。
電源ボタンは、押した後すぐに離してください。

4

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

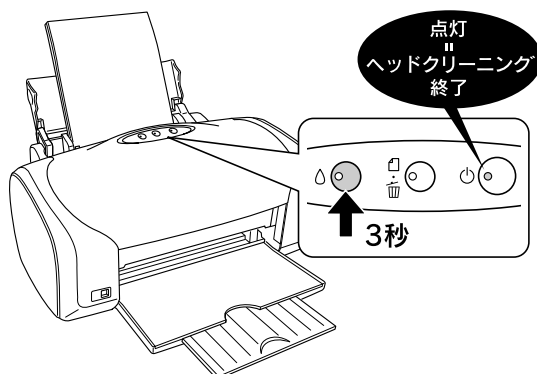
右のサンプルを参照し、ノズルが目詰まりしている場合は、ヘッドクリーニングを行います。

ノズルチェックパターン

○ すべてのラインが印刷されています。

× 印刷されないラインがあります。

■ヘッドクリーニング

プリンタの電源がオンになっていることを確認して、インクボタンを3秒間押したままにします。

プリントヘッドが動き出したら手を離してください。電源ランプが点滅して、ヘッドクリーニングが行われます。電源ランプの点滅が点灯に変わったらヘッドクリーニングは終了です。

ヘッドクリーニング後は、再度ノズルチェックを行って、ノズルの目詰まりが解消されたかをご確認ください。

これだけは覚えておきましょう
インクカートリッジの交換

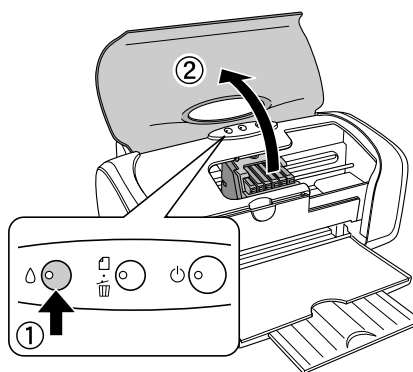
インクがなくなると、インクランプが点灯して印刷できなくなります（インクランプが点滅しているときは、インク残量が残り少ないときです）。
インクがなくなったときは、以下の手順で、インクカートリッジを交換してください。

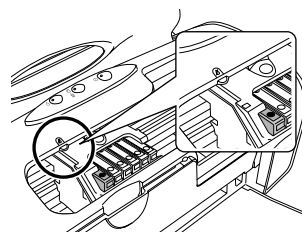
本プリンタで使用できるインクカートリッジの当社純正品は以下の通りです。

ブラック	シアン	ライトシアン	マゼンタ	ライトマゼンタ	イエロー
ICBK32	ICC32	ICLC32	ICM32	ICLM32	ICY32

1 プリンタの電源をオンにします。

2 ① インク ボタンを押し、② プリンタカバーを開けます。

プリントヘッドが移動して、電源ランプが点滅します。

3 交換の必要なインクカートリッジを確認します。

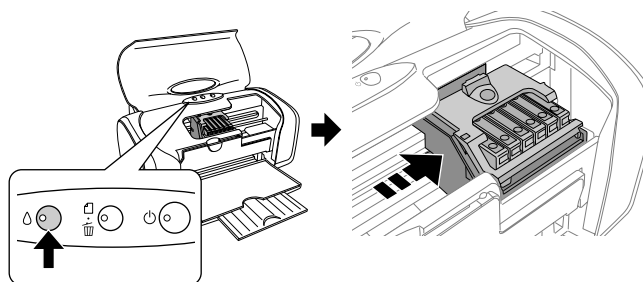
マークの前にあるインクカートリッジが、交換の必要なインクカートリッジです。
すべての色のインク残量がまだ十分にあるときは、プリントヘッドは マークの位置まで出てきません。この場合は、手順 5 へお進みください。

※ このイラストはブラックの場合です。

こんなときは

インクカートリッジの交換作業を中止したい場合は
交換するインクカートリッジが手元にないなどの理由で、交換作業を一旦中止にしたい場合には、電源をオフにしてください。

※ 以降の説明はブラックインクカートリッジを交換する場合の例ですが、他の色のインクカートリッジも同様の手順で交換できます。

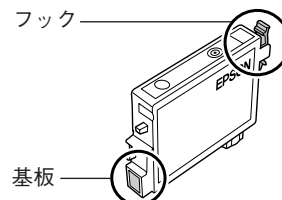
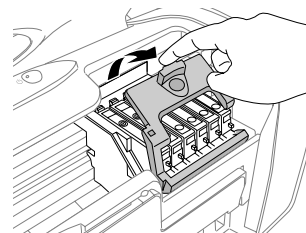
4 もう一度、インク ボタンを押します。

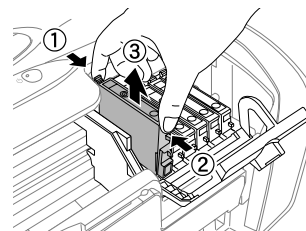
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ移動します。

補足情報

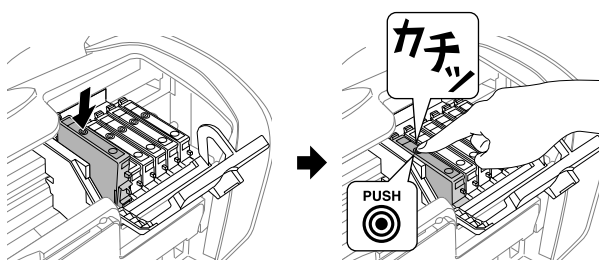
ほかの色のインクもなくなり、同時に交換が必要な場合
プリントヘッドは、交換位置に移動せず、再び マークの前で停止します。この色のインクカートリッジも交換が必要ですので、色を覚えて インク ボタンを押してください。

新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

注 意

- フックを折らないように注意して袋から取り出してください。
- インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。
  インクが漏れたり、正常にセットできなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

カートリッジカバーを開けます。

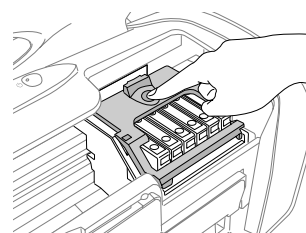
交換するインクカートリッジのフックをつまんで、取り出します。

新しいインクカートリッジを下図の矢印の向きに挿入し、◎部分を押してセットします。

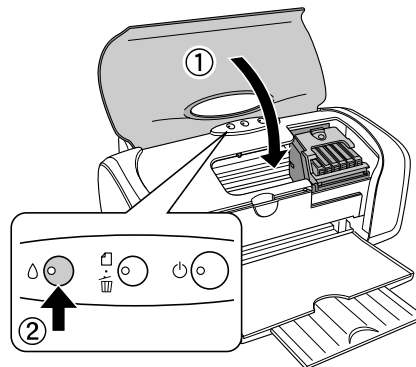
インクカートリッジは、まっすぐに挿入してください。

注 意

すべてのインクカートリッジをセットしてください。すべてのインクカートリッジがセットされていないと印刷できません。

カートリッジカバーを戻し、図の部分を押します。

注 意

カートリッジカバーが閉まらないときは、もう一度インクカートリッジをセットし直してください。

① プリンタカバーを閉じ、
② インク ボタンを押します。

プリントヘッドが右に移動して、インクの充てんが始まります。

11

インク充てんの終了を確認します。

インクの充てんには、約1分かかります。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、インクの充てんは終了です。

注意

- インク充てん中（電源ランプの点滅中）は、絶対に電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷できなくなるおそれがあります。
- 取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

補足情報

インクカートリッジの回収にご協力ください

- インクカートリッジ回収ポスト
  弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジ回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。
- 使用済みインクカートリッジ回収によるベルマーク運動
  弊社は、カラリオプリンタの使用済みインクカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みインクカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

インク消費について

印刷時以外にも以下の場合にインクが消費されます。

- インクカートリッジ装着時
- 印刷前に行われるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時

※初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されます。

これだけは覚えておきましょう 電子マニュアルの見方

電子マニュアルとは

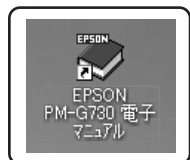
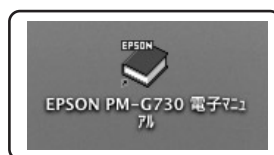
電子マニュアルとはパソコンの画面上でご覧いただくマニュアルです。
プリンタソフトウェアと同時にインストールされた『PM-G730電子マニュアル』では、本製品の使い方や、トラブルの解決方法などの詳細な情報をご紹介しています。

補足情報

電子マニュアルは、インターネットをご覧いただくソフトウェア「Internet Explorer （Version5.0 以上）」などのブラウザでご覧いただくことができます。

表示方法

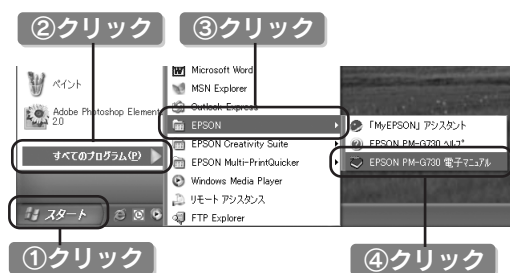
デスクトップ上の「PM-G730 電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックして表示します。

Windows

ダブルクリック

ダブルクリック

補足情報

デスクトップ上に『PM-G730 電子マニュアル』のアイコンがない場合は、以下の手順で表示します。

【Windows の場合】

① ［スタート］ー② ［すべてのプログラム］（またはプログラム）ー③ ［EPSON］ー④ ［EPSON PM-G730 電子マニュアル］ の順にクリックします。

【Mac OS X の場合】

①［ハードディスク］ー②［アプリケーション］ー③［EPSON_TPMANUAL］ー④［PM-G730］の順にダブルクリックし［EPSON PM-G730電子マニュアル］をダブルクリックします。

これだけは覚えておきましょう

電子マニュアルの使い方

電子マニュアルの基本操作

電子マニュアルの便利な機能と上手な見方

が に変わる項目をクリックすると、画面が切り替わります。

戻る ボタン

1つ前に表示されていた画面に戻ります。

［ガイドメニュー］

クリックすると、各章の入り口（リンク）が表示されます。

こんなときは

ウィンドウ（画面）を移動させたい場合

マウスカーソルをタイトルバーに合わせ、移動させたい位置にドラッグ（マウスボタンを押しながらマウスを動かす）して、ウィンドウを動かすことができます。

［検索］機能

（Windowsのみ）

検索したい「キーワード」または「文章」を入力して、実行 ボタンをクリックすると知りたい項目が表示されます。

こんなときは

ウィンドウ（画面）のサイズを変更したい場合

ウィンドウの隅（Mac OS Xは右下の隅）にマウスカーソルを合わせ、ドラッグ（マウスの左ボタンを押しながらマウスを動かす）して、ウィンドウサイズを調整できます。

文字サイズを大きくできます

文字が小さくて読みづらい場合は、以下の方法で変更することができます。

変更手順

①［表示］メニューをクリックして、②［文字のサイズ］をクリックし、③ご希望の文字サイズをクリックします。

補足情報

ここでは、Microsoft Internet Explorer（Windows版）の場合を例に説明しています。
変更方法はお使いのOSやブラウザ、バージョンによって異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

こんなときは
トラブル対処方法

ここでは、準備時のトラブルについての対処方法のみ記載しています。ここに記載してある以外のトラブルについては『PM-G730 電子マニュアル』－「トラブル対処方法」をご覧ください。

プリンタが動作しない

プリンタが動作しない場合には、次の項目をご確認ください。

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

コンセントに電源はきていますか？
ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、動作するか確認してください。ほかの電化製品が正常に動作するときは、プリンタの故障が考えられます。

パソコンの画面に「プリンタが接続されていません」、「用紙がありません」などのメッセージが表示されていませんか？
画面上に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処方法）が表示されている場合は、メッセージに従って原因を解決してください。

プリンタケーブルはしっかりと接続されていますか？

上記 4 点を確認してもトラブルが解決しない場合は以下の手順でプリンタ本体の動作確認を行い、本体が故障していないかを確認してください。

プリンタ本体の動作確認方法

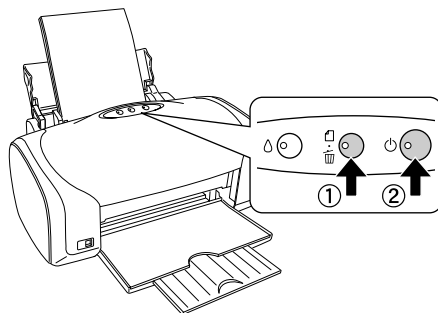
プリンタのボタン操作でノズルチェックパターンを印刷して、プリンタが故障していないか確認します。パソコンと接続していない状態でノズルチェックパターンを印刷することにより、プリンタが故障しているか確認できます。

A4 サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

一度、プリンタの電源をオフにします。

① 用紙 ボタンを押したまま、
② 電源 ボタンを押します。

用紙 ボタンは、プリントヘッドが動き出すまで押したままにしてください。

電源 ボタンは、押した後すぐに離してください。

ノズルチェックパターンが印刷できる

プリンタは故障していません。
印刷できない原因がほかにあります。次ページをご覧ください。

ノズルチェックパターンが印刷できない

プリンタが故障している可能性があります。お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

プリンタドライバをインストールしても印刷できない

Windows環境でお使いの場合には、プリンタドライバ（本製品を使うために必要なソフトウェア）が正しくインストールされていない、または印刷先のポートが正しく設定されていない可能性があります。

プリンタドライバのインストール状態を確認

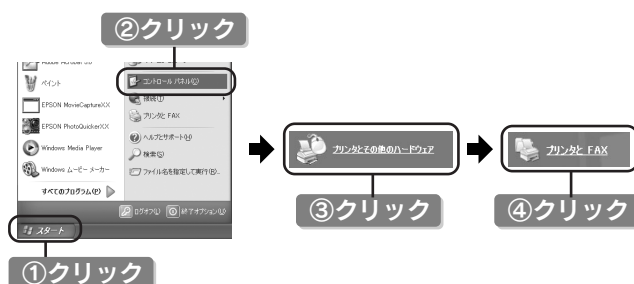
以下の手順でプリンタドライバのインストール状態と、ポートの設定状態を確認してください。

プリンタの電源をオンにしてUSBケーブルをしっかりと接続します。

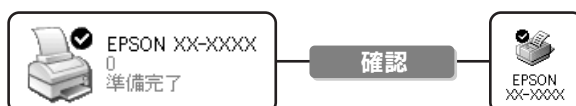
［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

Windows XPの場合

①［スタート］-②［コントロールパネル］の順にクリックして、③［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、④［プリンタとFAX］をクリックします。

②クリック
③クリック
④クリック
①クリック

Windows 98/Me/2000の場合

［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

3 ［プリンタ］フォルダを開いて、［PM-G730］のアイコンがあるかを確認します。

［PM-G730］のアイコンがある

プリンタドライバは正常にインストールされています。

次ページの「印刷先のポートの設定を確認」をご覧のうえ、印刷先ポートの設定を確認してください。

☞本書32ページ「印刷先のポート設定を確認」

［PM-G730］のアイコンがない

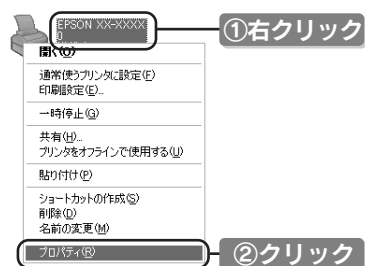
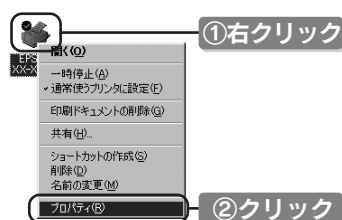
プリンタドライバが正常にインストールされていません。

「プリンタドライバの再インストール」をご覧のうえ、プリンタドライバをインストールし直してください。

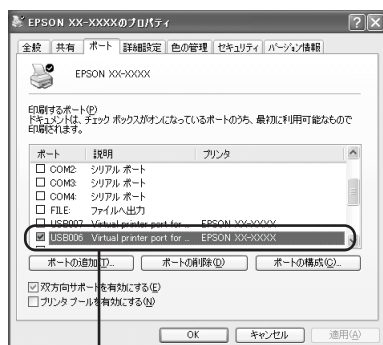
☞本書33ページ「プリンタドライバの再インストール」

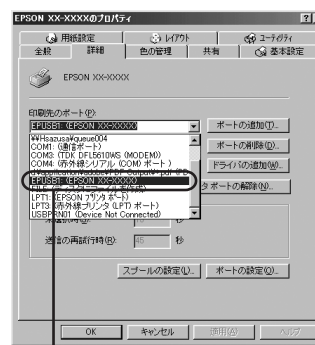
印刷先のポートの設定を確認

1 PM-G730 のアイコンを右クリックし［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000/XP

Windows 98/Me

ポートを確認します。

Windows 2000/XP の場合

［ポート］タブをクリックし、［USBxxx　EPSON PM-G730］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。他のポートが選択されている場合には［USBxxx　EPSON PM-G730］を選択して印刷ができるかどうかを確認してください。

Windows 98/Me の場合

［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx　EPSON PM-G730］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。他のポートが選択されている場合には［EPUSBx　EPSON PM-G730］を選択して印刷ができるかどうかを確認してください。

USB 以外のポートが選択されている場合は、［USB］と［EPSON PM-G730］が表示されているポートを選択して設定しなおします。

［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

印刷できるかどうかを確認します。

印刷ができなかった場合は、次ページの「プリンタドライバの再インストール」をご覧のうえ、プリンタドライバを削除してから再度インストールしてください。

プリンタドライバの再インストール（Windows）

プリンタドライバをインストールし直します。

プリンタの電源をオフにしてUSBケーブルをパソコンに接続します。

起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

3

『ソフトウェアCD-ROM』をパソコンにセットします。

以下の画面が表示されますので、［おすすめインストール］をクリックします。

［インストール］をクリックします。

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

補足情報

電源オンを指示されたら、プリンタの電源をオンにしてください。

ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。［⊗］をクリックして画面を閉じます。

この後は画面の指示に従ってください。

7

インストールが終了したら、印刷を実行してみてください。

付録

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「トラブル対処方法」をよくお読みください。

■保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

■補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後6年間です。

■保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター（本書巻末の一覧表をご覧ください。）
- 受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
- 受付時間：9：00～17：30

■保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

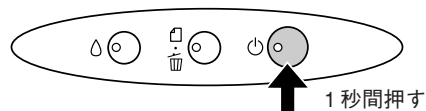
種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込/送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

注意

修理品を送付するときは、プリンタを衝撃などから守るために、しっかり梱包してください。
本書 35 ページ 「プリンタを輸送するときは」

プリンタを輸送するときは

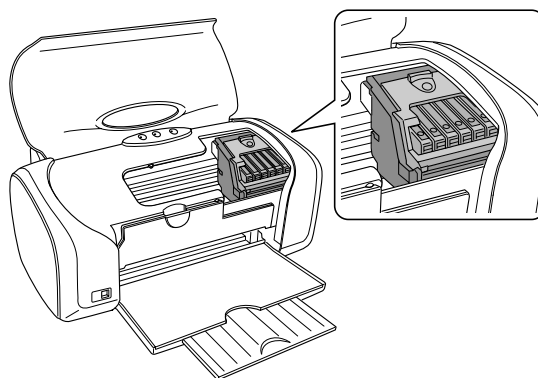
プリンタを輸送するときは、プリンタを衝撃などから守るために、しっかり梱包してください。

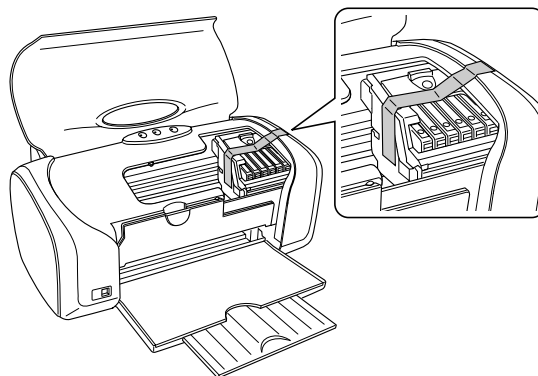
1 電源をオフにします。

2 プリンタカバーを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。

注 意

インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

こんなときは

プリントヘッドがキャッピング位置にない場合は、一旦電源をオンにして、再度電源をオフにします。

3 市販のテープなどで、インクカートリッジセット部が動かないように本体カバーにしっかりと固定してください。

長時間貼り付けると糊がはがれにくくなるテープもありますので、輸送後は、直ちにはがしてください。

4 用紙サポートと排紙トレイを収納します。

5 電源プラグをコンセントから抜き、プリンタケーブルを取り外します。

6 梱包材を取り付け、プリンタを水平にして梱包箱に入れます。

上記の手順でしっかりと梱包したら、輸送の準備は整いました。

注 意

保護材取り付け時、輸送時には、プリンタを傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

こんなときは

輸送後に印刷不良が発生した場合は

プリントヘッドをクリーニングしてください。

本書21ページ「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」

環境基本仕様

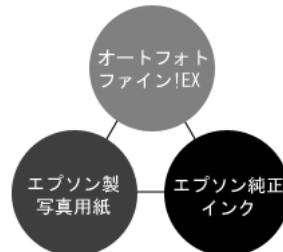
プリンタの環境基本仕様は、以下の通りです。

消費電力	連続印刷時　：平均約 12W（ISO/IEC 10561 レターパターン印字） 低電力モード時　：2.5W 電源オフ時　：0.1W（電源プラグは接続状態） ※ 消費電力を 0W にするためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。 （電源プラグは、電源スイッチで電源をオフにしてから抜いてください。）
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジ回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。 最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下をご覧ください。 本書 34 ページ「保守サービスのご案内」
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後６年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後６年
適合規格	• 国際エネルギースタープログラム • 情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B

Epson Colorについて

Epson Colorとは

Epson Colorとは、エプソンお薦めの写真品質のことです。エプソン独自の画像解析／処理技術「オートフォトファイン!EX」を用いて、エプソン純正のインクと写真用紙を使って印刷することにより実現されます。

エプソンお勧めの写真品質

オートフォトファイン!EXでは、被写体認識の強化と自動補正機能を進化させることで、より画像内容に合った最適な画像補正が可能になりました。風景は鮮やかでクリアに、かつ空や木々の緑の記憶色を鮮やかに再現、また人物は明るくソフトに、かつ人肌の記憶色を中心に再現します。

補足情報

- 補正や加工は印刷時に処理されるだけで、データそのものは補正／加工されません。
- オートフォトファイン!EXは、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大／縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、四辺フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。
- 印刷する画像にExif Printの撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた画像補正を行います。

Epson Colorで印刷するためには

Epson Colorで印刷するためには、Epson Color対応のプリンタで、Epson Color対応用紙に印刷してください。

■ Epson Color対応用紙

- 写真用紙クリスピア＜高光沢＞
- 写真用紙＜光沢＞
- 写真用紙＜絹目調＞
- 写真用紙＜絹目調＞はがき

■印刷手順

プリンタにEpson Color対応用紙をセットし、［用紙種類］で対応の用紙を選択すれば、Epson Colorで印刷されます。

こんなときは

- 添付の写真印刷ソフトウェア「EPSON Easy Photo Print」から印刷する場合
  Epson Color対応用紙を選択して印刷します。このとき［レイアウト調整］画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。
- 市販のアプリケーションソフトから印刷する場合
  プリンタドライバの［基本設定］画面でEpson Color対応用紙を選択して印刷します。このとき［基本設定］画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。

補足情報

Mac OS Xでは、市販のアプリケーションソフトからEpson Colorをご利用いただけません。

以上で、Epson Colorの説明は終了です。

Microsoft®Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft®Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft®Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書中では、Windows XP と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS 9.1 〜 9.2.x ／ Mac OS X v10.2、v10.3、v10.4
本製品の取扱説明書では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記していることがあります。
また、アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。
本製品の取扱説明書では、アップルコンピュータ社の iMac を接続の説明のために例示しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償致しかねます。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条　通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など
以下の行為は、法律により禁止されています。
・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること
次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行権、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　- 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
（5）本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
（6）エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

各種お問合せ先

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570ー090ー090　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8011 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
*一部のPHSからおかけいただく場合
*一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、(042) 589-5250におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

●スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内

東京　TEL(03)5321-9738　　大阪　TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールなどはホームページでご確認ください。　http://www.i-love-epson.co.jp/school/

●ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2005. 6（A）

プリントヘッド（ノズル）の目詰まり

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、以下のサンプルのような症状が現れることがあります。このような場合は、まずノズルチェックを行い、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングを実行してください。

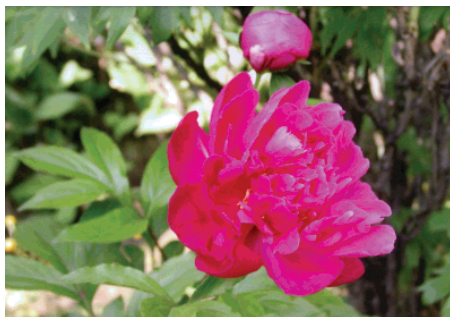
☞ 本書 21 ページ「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」

サンプル A

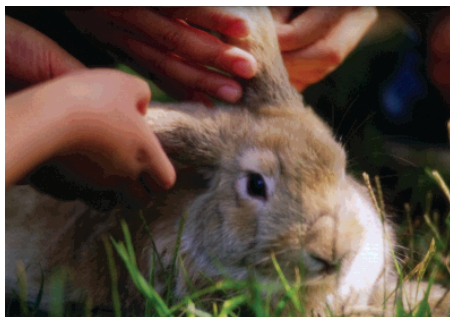
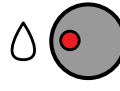
正常時

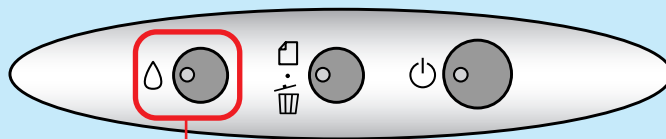
目詰まり時

サンプル B

正常時

目詰まり時

サンプル C

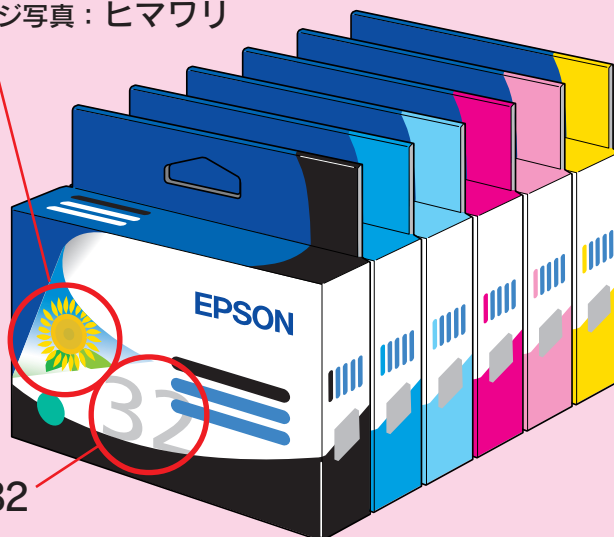
正常時

目詰まり時

ランプ表示によるインク残量の確認

インクランプが点灯、または点滅しているときの対処方法は以下のとおりです。

インクランプ

ランプの状態	点滅	点灯
内　容	いずれかのインクが残り少なくなりました。 （しばらくは、印刷することができます。）	いずれかのインクがなくなりました。 （または、インクカートリッジがセットされていないか、本プリンタでは使用できないインクカートリッジがセットされています。）
対処方法	新しいインクカートリッジを準備してください。 インク型番については以下をご覧ください。	新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 25 ページ「インクカートリッジの交換」

※インクカートリッジを交換した後に点灯した場合は、正しくインクカートリッジが認識されていません。もう一度インクカートリッジをセットし直してください。
インクカートリッジの交換方法については本書 25 ページ「インクカートリッジの交換」をご覧ください。

インクカートリッジの型番

ブラック	：	ICBK32
シアン	：	ICC32
ライトシアン	：	ICLC32
マゼンタ	：	ICM32
ライトマゼンタ	：	ICLM32
イエロー	：	ICY32

お得な６色パックもあります。

６色パック	：	IC6CL32

イメージ写真：ヒマワリ

32

※パッケージのイメージ写真と番号を、お買い求めいただく際の目印としてご活用ください。

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
本書はリサイクルに配慮して作成しています。
不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

410514200

Printed in Japan XX.XX-XX XXX

EPSON